

2 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和5年2月9日（木）
 - 2 開 催 場 所 加古川市役所 北館 大会議室
 - 3 出席した委員 小南教育長、溝口委員、播委員、坂元委員、土屋委員
 - 4 出席した職員 織田教育総務部長、桐山教育指導部長、
稲岡教育総務部次長、杉本教育指導部次長、
福島教育指導部公民館統括担当参事、
松尾教育指導部学校教育担当参事、
今津教育指導部青少年育成担当参事、
岸田教育総務課長、松尾学務課長、
梅野社会教育課長、真鍋学校教育課長、衣笠教育研究所長、
中川教育総務課副課長、岡本教育総務課管理調整係長
 - 5 傍 聴 者 なし
 - 6 議 事 の 要 旨
- 開 会 午後2時
 - 会議録署名委員指名のこと
播委員に決定
 - 1月定例教育委員会の会議録報告承認のこと
(事務局から会議録朗読報告)
承 認
 - 会議公開の可否決定のこと
報告事項1及び2「市内小学校で発生した重大事態に関する市長報告について」、専
決事項1「上告受理の申立ての提起について」、協議事項1「地方自治法第180条の7
の規定に基づく協議について」、2「校長及び教頭の異動に係る内申について」は非公
開とし、他は公開することに決定

(報告事項)

- 1 市内小学校で発生した重大事態に関する市長報告について
(議事を非公開とする)
- 2 市内小学校で発生した重大事態に関する市長報告について
(議事を非公開とする)

(専決報告)

- 1 上告受理の申立ての提起について
(議事を非公開とする)
- 2 加古川市少年愛護センター運営協議会委員の委嘱について
(教育指導部青少年育成担当参事から説明)
原案可決

(協議事項)

- 1 地方自治法第 180 条の 7 の規定に基づく協議について
(議事を非公開とする)
 - 2 校長及び教頭の異動に係る内申について
(議事を非公開とする)
- 次期定例教育委員会予定日のこと
3月9日(木)午後2時から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) P T A 連合会との懇談会について

1月19日にP T A連合会と教育委員会で懇談会が開催された。P T A連合会から14名、教育委員会から13名が参加した。

教育委員会の主要な事業の取組状況として、小中学校の規模適正化や幼稚園の今後のあり方、両荘みらい学園についての基本構想、協同的探究学習、不登校児童・生徒への支援について、学習者用端末クロームブックの活用について説明した。

P T A連合会からはコロナ禍において行事が行えていないことで、十分に引継が出来ないことへの不安や次期P T A役員のみならず手不足などの運営に関する課題があった。そうした課題のある中で、役員の負担軽減を図りながら行事を実施した例もお聞きした。

この3年間、コロナ禍において様々な形でP T A役員の方々にはご苦勞を頂いていることを伺った。

(2) 学校保健講演会の聴講について

不登校についてこれまで20年間学校で様々な取組をされた、岐阜大学小児科教授である加藤善一郎氏の講演会に参加した。

医師の目から見た学校での対応・課題に関する提言があり、非常に参考になった。

(3) 東播磨地域の知的特別支援学校の狭隘化対策について

2月6日にいなみ野特別支援学校で齋藤兵庫県知事が岡田市長同席のもとで、東播磨地域の知的特別支援学校の狭隘化対策について記者発表を行った。

現在、東播磨地域には県立の知的障がいにかかる2つの特別支援学校があるが、狭隘化が進んでいる。

狭隘化対策として、2つの特別支援学校の増改築と、新設校を1校建てる計画になっている。

その中で令和5年度末をもって閉校となる平荘小学校について、校舎の増築や改修を行い、新たな特別支援学校として令和8年度より一部供用開始、令和9年度より全体の供用開始を見込んでいる。

平荘小学校の活用については市と県の教育委員会と一緒に地域に事前説明を行い、町内会長やPTAにも一定の理解を頂いている。今後、全体的な調整を行い、事業を進めていく予定である。

○ 教育委員諸報告

[播委員から]

(1) 学校保健講演会の聴講について

岐阜大学の加藤善一郎氏の不登校に関する講演会に参加した。不登校の原因として、OD（起立性調節障害）を含む内的環境と外的環境がある。子どもの特性に加え、学校のシステムや対応といった外的環境が負担になり、不登校を招くことになると伺った。

全国に多くの不登校の子ども達がいて、医師の方々が診るのは保護者や子どもが積極的に医療を受けようとする場合であるが、不登校の多くは医師とコンタクトを取れないケースであるため、その対応はより難しい。

「たかが不登校」と捉える考え方も大切だが、それを保護者や子どもにどのように伝えるかということの困難さもあると感じた。

[土屋委員から]

(1) 岡山市立石井小学校におけるイマージョン教育の視察について

2月3日に岡山市立石井小学校におけるイマージョン教育の視察をした。

石井小学校は平成17年より英語に浸るイマージョン教育に取り組み、成功している小学校である。先生方も自信とやりがいを持って取り組んでいる。児童も大人の英語に違和感なく反応し、英語を当然のことと捉えている。

校区外からの生徒を募集すると多くの希望が寄せられる。

両荘みらい学園にも活かせることがあると感じた。

[坂元委員から]

(1) 岡山市立石井小学校におけるイマージョン教育の視察について

小学校で最も印象的だったのは児童が皆自然に授業を楽しんでいたことだった。小学生が英語を楽しく受け止めることに主眼を置いており、英語の英才教育をしている学校ではなく、楽しい学校として浸透していると感じた。

石井小学校は校内に英語の掲示と日本語の掲示を上手く配置しており、英語が身近にある環境を整えていた。両荘は以前から英語に尽力していると聞いているので、具体的な事例を上手く取り入れられるよう、関係者が視察をする意義があると感じた。

教 育 長 : 私も視察に伺ったが、英語専科の先生はいなくて、全ての先生で取り組む必要があると聞き、すごいことだと感じた。先生の半数が英語の資格を持っているとのことで、人的な配慮も必要と感じた。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 加古川市民生委員推せん会委員の推薦について

現在、土屋委員に就任頂いているが、次期も引き続き推薦を行っている。

(2) 市内学校園における学級閉鎖の状況について

1月以降の新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・感染性胃腸炎による学校園の学級閉鎖数について報告した。

以上、2件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 令和5年度高等学校入学者選抜に係る日程について

令和5年度兵庫県公立高等学校入学者選抜について、推薦入学・特色選抜・多部制I期試験は2月15日(水)、学力検査は3月10日(金)に実施される。

(2) 令和4年度教育研究所研究員「研究発表会」の開催について

2月21日(火)に令和4年度教育研究所研究員「研究発表会」を開催する。

以上、2件について報告

○ 閉 会 午後3時50分